

## Yusuhara a Home from Home (第6部)

5月25日、アメリカで起こった事件に思うこと (Minneapolis, Minnesota May 25)

前回のお話から2か月が経ちました。梶原や学園のことで特筆するような出来事をちょっと思いつきませんでしたので、今回は、現在世界的な問題になりつつある、とある事件のことについて少し書きたいと思います。たまたま通りがかった人によって撮影され、インターネットで拡散されたことで、アメリカのミネソタ州ミネアポリスで、ジョージ・フロイド(George Floyd)という名前の男性が、警察官によって殺害された事件のことが世界中に明るみになりました。問題の動画はSNSで何回となく拡散され、次いで既存のメディアに取り上げられ、世界中の人々を激怒させたのです。

この結果、アメリカの大半の都市や町で、デモや抗議行動が巻き起こりました。この大きな流れは、日本を含めて60か国以上の反響を呼んでいます。そうした抗議行動の多くは静かに、そして死者に対する畏敬の念をもって行われました。コロナウイルスにより、社会活動を最小限にまで制限されていたここ最近の状況を、人々は反対の声を上げて集まるために利用しました。参加者たちは、行進し、歌い、プラカードを掲げ、世界の様々なリーダーたちに向かって、何よりも平等の名のもとに、現状を変革することを要求していました。

日本での僕自身の生活を振り返って考えると、こうした人種差別が他の国々と同じくらいに、日本でもよくあることがらなのか、ちょっとわからないというのが正直なところですが。これは僕が大都市ではなく、山間部にある小さな町に住んでいるせいかもしれません。もちろんだからといって、日本にはそうした差別は存在しない、と言いたいわけではありません。ただ、少なくとも僕のこれまでの経験からは、そうした状況に遭遇したのはほぼ皆無と言っていいと思います。今回のこの世界的な運動が、よりよい世界の実現につながることを心から願ってやみません。誰もが安心して、そして平等に扱われるような……そんな世界が。



アメリカでの抗議行動の一幕です。

(日本語訳：町 ALT 森竹弘喜)